

[集計結果から]

教職員の回答で、AやBの肯定的な意見が昨年より増えているものは、

- No1 「生徒は、学校生活を楽しんでいると思う」は、肯定的な意見が100%という、嬉しい結果となりました。
- No5 「生徒は、家庭でほぼ毎日勉強していると思う。」について、「よくあてはまる」が5%増え、否定的な意見が10%減りました。さらに、家庭学習を充実していけるよう、助言を行っていきます。
- No6 「生徒は、あいさつがよくできていると思う。」が、18%と大幅に増加しています。95%の教職員が肯定的な回答です。生徒会の朝のあいさつをはじめ、教職員の地道な取り組みの成果と思われます。
- No16 「学校行事は、生徒にとって、楽しくて、充実したものになっていると思う」が5%増えています。学校行事をきっかけに、根気よく取り組むことや、力を合わせて頑張ることの大切さなども学んでいます。

生徒の回答でAやBの肯定的な意見が昨年より減っているものは、

- No3 「生徒の学力は、少しずつではあるが向上していると思う」が、9%減っています。14%の教職員が否定的な回答をしており、学力向上は課題として、全教職員で取り組む必要があります。
- No4 「生徒の読書量は、昨年と比べて増えていると思う」が、13%減っています。本を読む習慣を身につけるために、まずは、教員自身や保護者の方が本を読んでいる姿を見せるとよいのではないのでしょうか。
- No8 「教師(私)は、生徒の生活や学習の態度について、注意や指導ができている」が、9%減っています。わからないと回答した教職員が14%と多くなったためと考えられます。
- No9 「教師(私)は、生徒の悩みなどの相談に適切に応じている」が、9%減っています。わからないと回答した教職員が14%と多くなったためと考えられますが、生徒の気持ちに寄り添うために、教職員自身の気持ちのゆとりが求められます。
- No10 「教師(私)は、いじめなどのない楽しい学級づくりや仲間づくりに努めている」が、14%減っています。わからないと回答した教職員が14%と多くなったためと考えられます。
- No11 「教師(私)は、わかりやすい授業に努めている」が、9%減っています。わからないと回答した教職員が14%と多くなったためと考えられます。「よくあてはまる」と自身をもって答えられるよう、メンター制度も活用し、一層の教材研究に努めていく所存です
- No12 「教師(私)は、責任を持って校務分掌に取り組んでいる」が、9%減っています。全教職員が「よくあてはまる」と自身をもって回答できるよう、気付いたことを言い合える職場環境にしていきたいと思います。
- No17 「学校は、いのちの大切さを考える学習や人権学習に力を入れていると思う」が、4%減っています。熱心に取り組んでいる教職員がほとんどですが、研修等を充実し、さらに、全教職員で取り組む必要があると考えます。
- No18 「学校は、地震・津波・不審者など、危機に対応する指導ができていると思う」が、14%減っています。危機感を持ちながらも、準備がまだ不十分であると感じている教職員が多いようです。

[次のような意見がありました]

- 「わからない」を選択している割合が多いのは、自己評価をするのが苦手なためかもしれませんが、「わからない」の選択肢はない方がよいと思います。
- 控えめに評価している人が多い印象ですが、「よくあてはまる」と自信をもって選択できる取り組みを行っていくことが重要であると思います。
- 先生方が色々気遣い、支えてくださっているおかげで、働きやすい職場になっていると思います。いつもありがとうございます。
- 生徒の変化に細かく留意し、さらに積極的に向き合う努力も必要でないかと思います。